



湯遊ランドはなわ調査特別委員会会議録

1 日 時	開会 令和7年7月9日 13:45 閉会 令和7年7月9日 15:35
2 場 所	湯遊ランドはなわ
3 出席委員	鈴木元久、金澤太郎、小林達信、吉田広明、七宮広樹、下重義人
4 欠席委員	なし
5 出席要求者 (説明員)	まち振興課長、まち振興課長補佐兼商工観光係長 株式会社埴町振興公社湯遊ランドはなわ統括支配人
6 職務出席者	議会事務局長、書記
7 付議事件	第1 湯遊ランドはなわの経営状況と視察状況について
8 議事の経過	(開会前に施設視察) 金澤太郎副委員長による開会 鈴木元久委員長あいさつ 第1 湯遊ランドはなわの経営状況と視察状況について 委員長：説明を求める。 (まち振興課長及び湯遊ランドはなわ統括支配人が資料に基づき説明) 委員長：質疑あるか。 下重義人委員：統括支配人の改善への想いは。 統括支配人：震災、コロナ、物価高騰を経て町民の方々に支えていただいた。町民が来やすい施設、ゆっくりできる施設にしていくために、背のびをせずに黒字を目指していきたい。また、首都圏のお客様を呼ぶ施設にしたい。農業体験の宿泊パックなども検討したい。 吉田広明委員：他ではハウス体験の宿泊場所があるが、貸し農園などのプランも良いのでは。 統括支配人：地に足の着いた経営をしていきたい。観光協会とも協力してプランを考えたい。 24 部屋しかないのにインターネット予約システムを利用する必要があるのかを社員と話し合いながら検討していきたい。 七宮広樹委員：2点聞きたい。黒字を目指すのか。資料の計画値の根拠は。 統括支配人：計画値は昨年の実績ベースを基準につくったもの。それを達成しつつ全体のバランスを見ながら経営を改善していきたい。 七宮広樹委員：湯遊ランドが町民目線ではないような話を聞く。情報提供など町民に寄り添う経営をしてほしい。 委員長：人員不足の状況は。募集状況と人員のバランスは。 統括支配人：パート、アルバイトで対応しているが、シフトの切り替えタイミングによってフロントに人が多いように見えるがご理解いただきたい。料理人や夜間清掃を募集しているがいない。 委員長：過去に実施した優待券の復活は。町民割の広報周知は。 統括支配人：優待券について、過去に町からの要請で行っていたことはあるが、本来町が法人

に優待券を強制することはできないと解されることからなくなった。

まち振興課長：広報を通じ、より周知していく。

七宮広樹委員：法人への多目的施設貸し出しの売上は。

統括支配人：使用料として月 25 万円。駐車場利用料として月 3 万円。

吉田広明委員：夏のイベントで子供向けのものはあるのか。

統括支配人：8 月からダリア園を開くが、湯遊ランドが独自で子供向けのイベントを仕掛ける余力は、人員不足により、ないことをご理解いただきたい。

吉田広明委員：町単独でイベントをしていただきたい。

まち振興課長：交付金を利用してイベントを実施しているが、観光協会と相談して事業展開していきたい。

七宮広樹委員：施設の傷みが目立つ。優先順位は。

まち振興課長：町の修繕予算が 100 万円程度。振興公社と相談して進めたい。女性大浴場の水漏れ修繕が一番の優先だが、きちんと直すとなると高額費用の外、休業も考えなければならない。

下重義人委員：昨日県知事が来庁したが、そういう場所での PR はできないか。風力発電事業に関連した誘客はできないか。

統括支配人：立地上の問題もあり、スケジュール調整が難しいのではないかと。風力発電設置事業者により、レストランや軽食の売上に若干ではあるが好影響がある。また、風力発電施設へ子どもたちの見学もできるのではないかと。

委員長：他ないので終了する。

副委員長による閉会

埴町議会委員会条例第 27 条の規定により署名する。

令和 7 年 7 月 10 日

湯遊ランドはなわ調査特別委員会委員長

鈴木元久